

風しん対策事業

健康福祉部 保健センター

(R241～ 健康生きがい支え合い推進部 保健センター)

1 事業年度 令和元年度～3年度

2 予算額 82,726千円

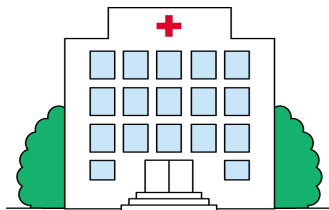
3 目的及び効果 風しんは、感染力が強い感染症です。



妊娠中の女性が風疹に感染すると、生まれてくる子どもに、眼や耳、心臓に障がいが生じる可能性があります。風しんの抗体保有率の低い世代の男性に対し、抗体検査及び予防接種を実施し、風しんへの感染を防ぐとともに感染の拡大防止を図ります。

4 事業概要

対象者は、風しんの抗体保有率が低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性です。令和2年度は、昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性(約11,500人)に対し、風しんの抗体検査及び予防接種の無料クーポン券を送付し、健診機関や医療機関での受検及び接種を実施します。



新規 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

健康福祉部 地域包括ケア推進課

(R24.1～ 福祉部 地域包括ケア推進課)

1 予算額 1,000千円

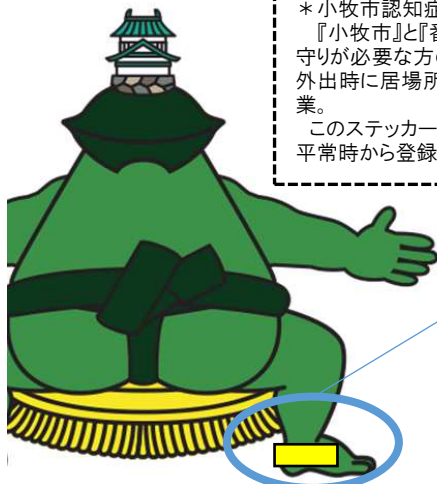
2 目的及び効果 認知症高齢者等が事故等により賠償責任を負った場合、これを補償する保険に市が加入することで認知症の方やその家族を支え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくりを推進します。

3 事業概要

市が契約者となる個人賠償責任保険に加入することで、日常生活における偶発の事故で、ご家族等が賠償責任を負った場合などに保険金の支払いを受けることができます。

【対象者】

小牧市認知症高齢者等見守りステッカー事業*の登録者などで、保険加入を希望する方。



*小牧市認知症高齢者等見守りステッカー事業

『小牧市』と『番号』が印字された光に反射する素材のステッカーを、見守りが必要な方の靴のかかとや杖などに貼付することにより、認知症等で外出時に居場所が分からなくなった際の早期発見・保護の一助とする事業。

このステッカーは、希望される方に無償で配布し、警察等の関係機関と平常時から登録情報を共有しています。



(仮称)第3老人福祉センター建設事業

健康福祉部 長寿・障がい福祉課
(R2.4.1～ 福祉部 地域包括ケア推進課)

1 事業年度 令和元年度～4年度

2 予算額 76,479千円

3 目的及び効果 今後も増加する高齢者の健康増進や教養の向上を図るため、地域バランスを踏まえ、久保一色地内に市内3番目となる老人福祉センターの建設を進めます。

4 事業概要 (仮称)第3老人福祉センター建設のために必要な実施設計業務等を行います。



施設配置図

年度	R1	R2	R3 以降
	基本設計 現況測量 地質調査 地歴調査	実施設計	工事 令和5年中 に完成予定

建設スケジュール

権利擁護支援センター運営事業

健康福祉部 長寿・障がい福祉課
(R24.1～ 福祉部 障がい福祉課)

1 予算額 21,100千円

2 目的及び効果

権利擁護支援センターを運営し、認知症の高齢者や、知的障がいのある方、精神障がいのある方などで、自らの権利を守るために支援を必要としている方や、その家族などに、権利擁護に関する相談や、成年後見制度の利用支援などを実施します。



また、市民や関係機関に向けて研修会等を実施することで、権利擁護の周知を図り、安心した暮らしをしていただくお手伝いをします。

3 事業概要

岩倉市、大口町、扶桑町と共同で、NPO法人尾張北部権利擁護支援センターに業務を委託して実施します。

○業務内容

- ・権利擁護支援に関する相談、利用支援及び情報提供
- ・後見開始の審判の請求及び審判の取消しの請求の手続き支援
- ・市長が行う審判の請求などに必要な支援
- ・権利擁護支援の広報事業及び啓発事業等

○実施場所

小牧市総合福祉施設ふれあいセンター内

拡充

子ども医療費入院費助成事業

健康福祉部 保険年金課
(R24.1～ 福祉部 保険医療課)

1 予算額 12,000千円

2 目的及び効果 現在行っている子ども医療費助成事業を拡充することにより、医療費にかかる保護者の経済的負担を軽減します。

3 事業概要 現在、15歳の年度末までの入・通院分にかかる医療費(保険診療分)の自己負担を無料とする助成を行っていますが、入院分について対象年齢を18歳の年度末まで拡充します。なお、支給方法は償還払いとなります。

【償還払い】…医療機関の窓口でいったん医療費の自己負担を支払っていただき、後日、市へ申請すると支払い分が返還されます。

